



「AMDB」(アセットマネジメントデータベース)を活用した 資産のマネジメントの推進

～ アセットマネジメントと連動した我が国初のデータベース ～

1. 背景

下水道施設のストックが増大、老朽化が進む一方で、施設の高度化・多様化等機能向上が求められ、保有する下水道資産のマネジメントはますます重要となってきました。そのためには、**検討の前提となる資産の現状把握とデータベース化が不可欠**です。

JSではこうした取り組みを効率的に行っていくためのツールとして、「AMDB」(アセットマネジメントデータベース)を開発しました。

2. 内容

「AMDB」は、JSが保有するサーバに、インターネット網を介してアクセスし、アセットマネジメントの実施に際して必要な各種のデータを入出力することができるシステムで、アセットマネジメントに活用できるほか、設備台帳、保全履歴、工事台帳、資産台帳等としても活用可能な**多目的型のデータベース**です。

下水道アセットマネジメントと連動した本格的なデータベースの構築は、我が国初のもので、JSはこの「AMDB」について、平成22年度に商標の登録(登録第6623216号(令和4年度更新))と、「AMDB」に登録されたデータを基にして計画策定のために必要な健全度算出と予測を行う一連の流れのビジネス方法特許(特許第4642085号)を取得しました。

3. 特徴と効果

- ① インターネットを通じてシステムを供与することで、団体様側には**サーバが不要で管理が容易、安定的かつ安価**で、全国どこにおいても、サービスを受けることができます。
- ② 点検・調査や修繕・改築等で得られた施設情報を継続的に蓄積し、**維持管理情報を含む施設情報のデータベース化**を行うことにより、点検・調査履歴等の維持管理情報の集積・分析を行うことが可能となります。
- ③ 「AMDB」のデータを使用して、**ストックマネジメント計画等の老朽化対策の立案・検討**に必要な**健全度の算出**を行い、その結果を蓄積していくことによって、**健全度の予測及び修繕・改築事業費の予測**を効率的に行うことが可能となります。
- ④ スtockマネジメント計画業務では、「AMDB」の機能を利用してデータ入力等を行うことから、点検・調査データが蓄積されるよう、「AMDB」を**継続利用**することで、次回以降の見直し検討業務を、**効率的、安価**に行うことができます。
- ⑤ JSでは、蓄積された「AMDB」のデータを、必要に応じて**統計処理**を行い、各地方公共団体に情報提供を行うことを目指しています。蓄積されたデータを有効活用することで、**全国の地方公共団体の下水道経営の一層の健全化**を支援していく予定です。

4. 導入(使用)実績 (箇所数: 令和5年度末)

台帳の目的として使用: 約 40 団体

長命化・SM(AM)健全度算出: 約 600 団体

データ蓄積数: 約 780 万データ

問い合わせ先

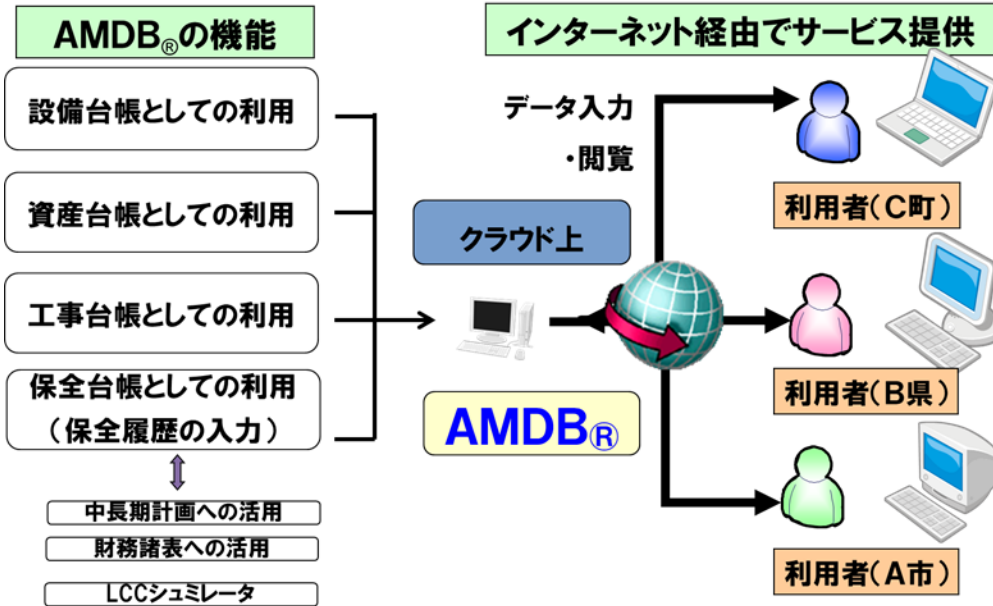
DX 戦略部 システムマネジメント課 TEL03-6361-7845

東日本設計センター 計画支援課 TEL03-3818-1449

西日本設計センター 計画支援課 TEL06-4977-2511



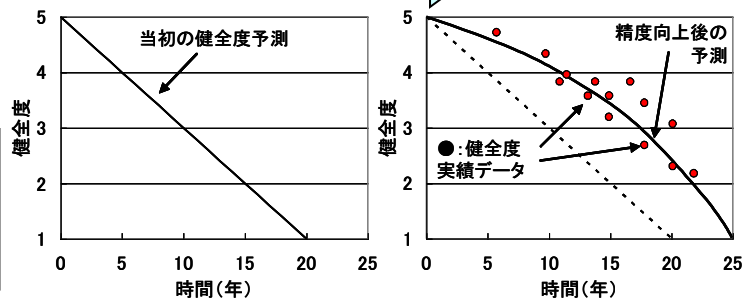
AMDBの概要



データ蓄積で、健全度の予測精度が向上

アセットマネジメントでは、AMDBに蓄積されたデータに基づいて将来予測を実施。

当初の健全度予測 → データ活用 → 精度向上後の予測



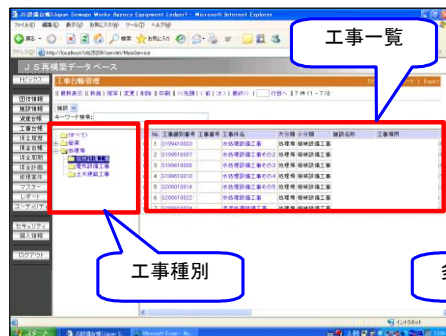
AMDBの画面サンプル

(使いやすいインターフェイスの一部を紹介)

機器台帳 管理画面



工事台帳 管理画面



機器台帳 管理詳細画面

